

## 第9章 - ゴルフ

スペシャルオリンピックスのゴルフ競技は、全てスペシャルオリンピックス公式スポーツルールに従う。国際的なスポーツプログラムとしてスペシャルオリンピックス(SO)はセントアンドリュースロイヤル&エインシャントゴルフクラブ(R&A)と合衆国ゴルフ協会USGA 公認のゴルフ規定に基づいてこれらのルールを定めた。これらのルールは全ての競技に適用されるが、スペシャルオリンピックス公式スポーツルールと矛盾する場合はスペシャルオリンピックス公式ルールが優先される。

### セクションA - 公式種目

1. レベル1 - 個人技能競技
2. レベル2 - オルタネートショットチームプレイ競技
3. レベル3 - ユニファイドスポーツチームプレイ
4. レベル4 - 個人ストロークプレイ競技(9ホール)
5. レベル5 - 個人ストロークプレイ競技(18ホール)

参加資格 - レベル 2~5 で競技する競技者は個人技能競技でスコアの合計が少なくとも60点なくてはならない。加えて、競技者は6つのスキルのうち少なくとも4つの部分で10点以上のスコアが必要である。その4スコアのうち1スコアはウッドあるいはアイアンショットによるものとする。また競技者は合計10点以下の2つのスキルにおいて最低5点に達しなければならない。

### セクションB - 一般ルールと変更

1. 個人技能競技を成功させるヒント
  - a. 安全第一
  - b. 異なった色(或いは縞模様)のゴルフボールを使用することにより、複数の競技者が同時に同じ目標に向かってボールを打つことができる。
  - c. そうでない場合は、スコア記録員の安全のため、1人の競技者だけが1度に1つの区域に向かって打つ。
  - d. 複数の打球区域を使用する場合、スコア記録員が安全な個所に立った状態で、どの位置にいる競技者にも5回全てのショットを打たせる。
  - e. 全ての競技者が打ち終わった後、スコア記録員は移動し、スコアをつけ、それらのボールを拾い上げる。
  - f. スコア記録員は各競技区域に1名必要。

#### 2. レベル1 個人技能競技

個人技能競技の目的は、競技者が基本的なゴルフ技能の訓練を受け、競技すること

にある。これらの基本技能を習得することが、レベル2へ進む前に必要である。レベル1での最高スコアは120点である。

#### a . ショートパット

- 1) 目的 ショートパットに焦点を合わせてパットをする競技者の能力を測る。
- 2) 用具
  - a)適切に印付けられたターゲットホール(標的ホール)を有するパッティンググリーン(パット用グリーン)
  - b)競技者 1名につきパター 1本
  - c)プレーヤー1名につきボール 5個
  - d)ホール外周のサークルターゲット(円形標的)に印をつけるため使用されるライン引き
  - e)グリーンフォーク(ボールマーク修繕具)
- 3) 解説
  - a)ターゲットホールが選ばれ、その周りに2つのサークル(円陣)が配置される。最初のサークルはホールから半径0.5m、2番目のサークルはホールから1.5m。
  - b)競技者はホールから2mの印が付けられた地点から5回打つ。
  - c)ショートパットはできるだけ表面が平坦なグリーン上で行われるべきである。
- 4) スコア
  - a)競技者はホールから2mのラインからホールに向けて5回パットしそのボールがどこに止まるかによってスコアが決まる。
  - b)競技者はストロークをして、ボールを打つことで1点を得る。(空振りも1打と数え、0点となる。)
  - c)ボールが1.5mサークル内或いはサークル線上で止まった時は2点。
  - d)ボールが0.5mサークル内或いはサークル線上で止まった時に3点。
  - e)ボールがホールに入った時、合計4点を得る。
  - f)ショートパットのスコアはその5打の合計である。

#### b . ロングパット

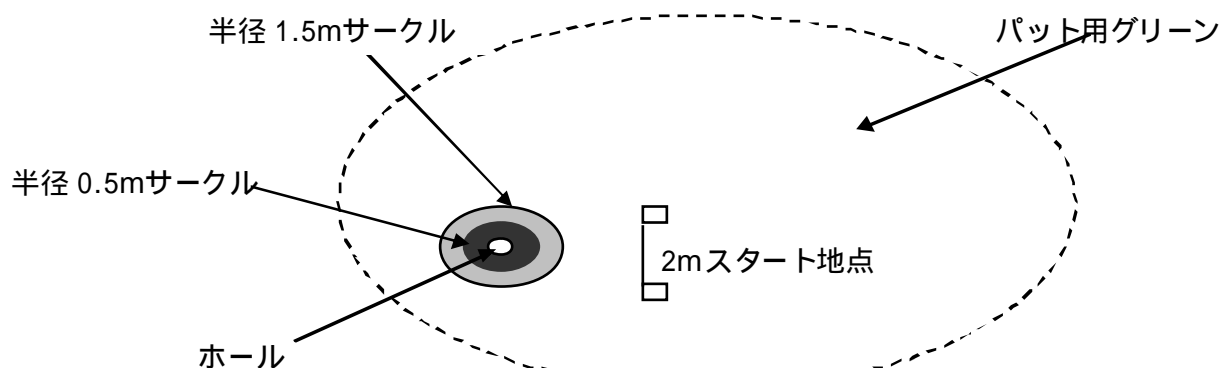
- 1) 目的 ロングパットに焦点をあててパットをする競技者の能力を測る。
- 2) 用具
  - a)競技者1名につきパター1本。
  - b)適切に印付けられた(ターゲット)ホールを有する標準パッティンググリーン。
  - c)ホール毎にボール5個を使用。
  - d)ホール外周のターゲットサークル作成に使用されるライン引き。
  - e)グリーンフォーク
- 3) 解説

- a) ターゲットホールが選ばれ、その周りに 2 つのサークルが配置される。最初のサークルはホールから半径 0.5m、2 番目のサークルはホールから半径 1.5m。
- b) 競技者はホールから 8m の印を付けられた地点から 5 回打つ。
- c) ロングパットはできる限り平坦なグリーン上で行われるべきである。  
注) パットは上り傾斜が推奨される。

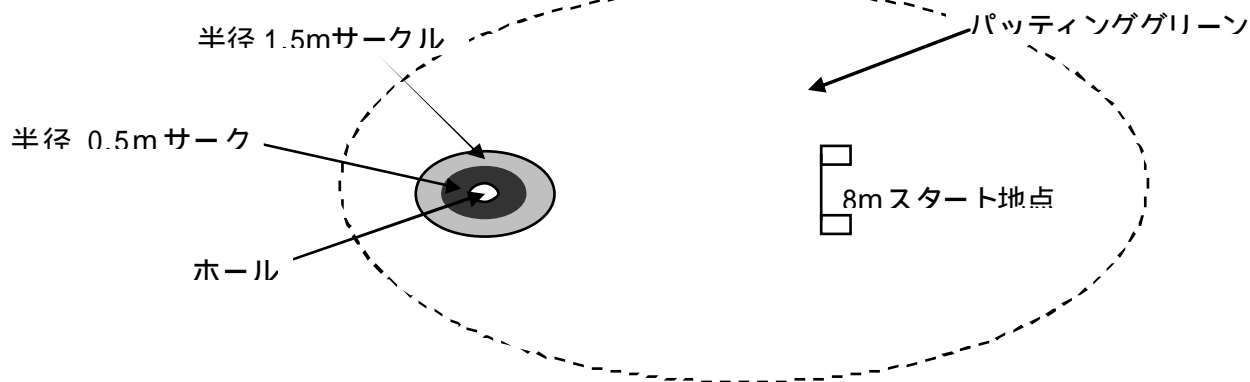
4) スコア

- a) 競技者はホールより 8m 地点からホールに向けて 5 回パットし、ボールがどこに止まるかによってスコアが決まる。
- b) 競技者 派ボール 1 打毎に 1 点を得る。(空振り是一次とみなし、スコアは 0 点となる)
- c) ボールが 1.5m サークル内或いはサークル線上で止まった時に 2 点。
- d) ボールが 0.5m サークル内或いはサークル線上で止まった時に 3 点。
- e) ボールがホールに入った場合、合計 4 点が得られる。

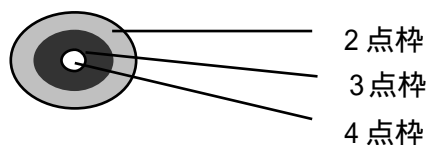
ショートパット図解：



ロングパット図解：



### 説明凡例



f) ロングパットの スコアはその 5 打の合計である。

### c . チップショット

1) 目的 ホールより 14m地点からチップショットを打つ競技者の能力を測る。

#### 2) 用具

- a) 右利き及び左利きプレーヤー用の各種番手のアイアン  
注意 本技能ではウッドクラブ及びパターの使用は禁止
- b) 各ホールで使用されるボール 5 個
- c) 明確に印を付けられた目標旗を有するパッティンググリーン

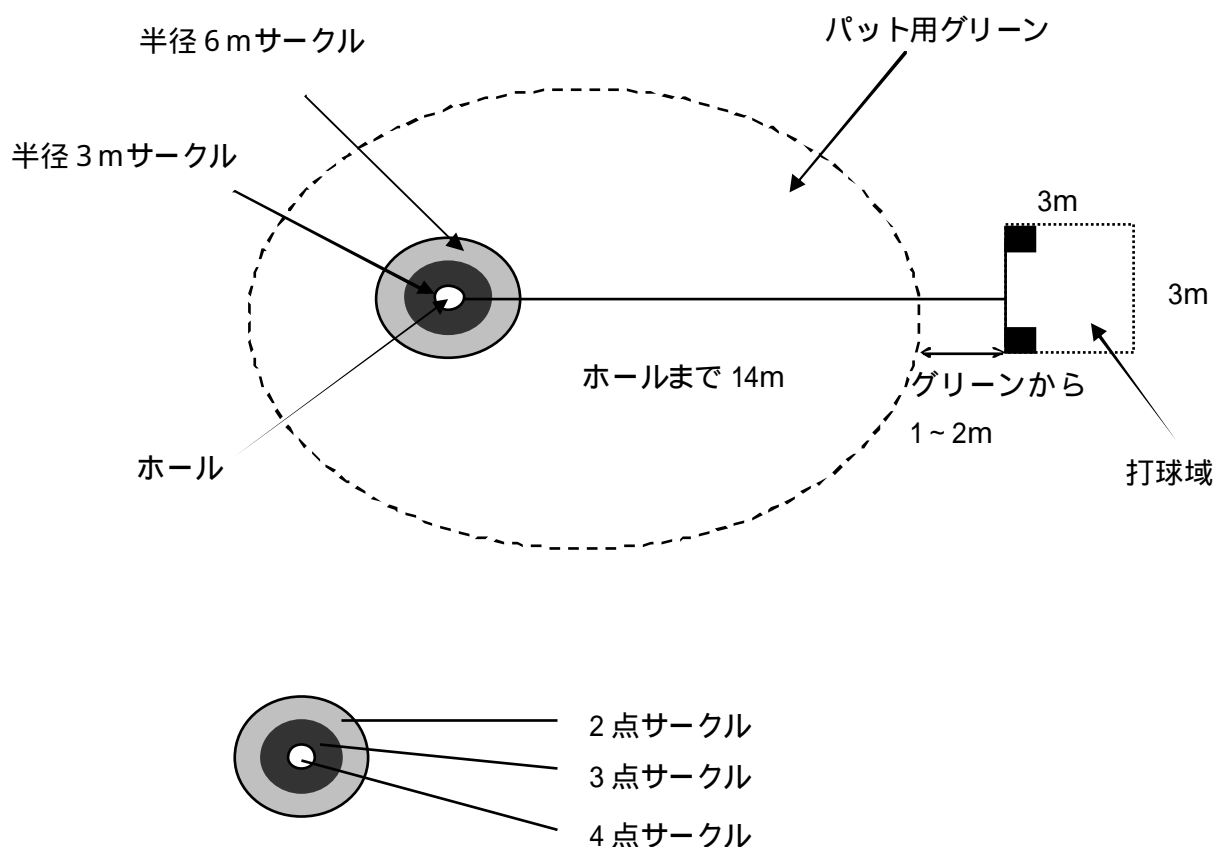
#### 3) 解説

- a) ホールから 14m離れたところに、3m四方の打球域をもってチップング領域を設定する。その領域はグリーン端から 2mとする。
- b) 半径 3mサークルと半径 6mサークルがホール周りに配置される。
- c) 安全に印された 3メートル四方の打球域、白墨、マーカー。
- d) 競技者は決められたホールに向けて、できる限りそのホールにボールを近づけるためのチップショットを行う。

#### 4) スコア

- a) 競技者はターゲットへのショットを 5 回行い、ボールが止まった地点によって点数が数えられる。
- b) 競技者はストロークをして、ボールを打つことで 1 点と数える。(空振り は 1 打とみなし、スコアは 0 点)
- c) ボールがホール外周の 6mサークル内で止まった時は 2 点。
- d) ボールがホール外周の 3mサークル内で止まった時は 3 点。
- e) チップショットがホールに入った時は 4 点。
- f) 5 打の合計 スコアがチップショットの最終 スコアとなる。

## 5) チップショット図解



### d. ピッチショット

1) 目的 定められた円形の目標域に向けて、適切な方向にコントロールされたピッチショットを空中に上げて打つ競技者の能力を測る。

#### 2) 用具

- a) 右及び左利きプレーヤー用の各種番手のピッチング用アイアン
- b) 地点毎で使用されるボール5個
- c) 印を付けられた打球域、塗料或いは白墨、マーカー
- d) 各所でボールを回収するための布袋や筒状容器
- e) 目標旗と打球用マット、又は人工マット
- f) 高さ1m幅5mの横断幕、サイン、ネット、障壁。それらを支える2mの支柱2本

#### 3) 解説

- a) 目標域は直径12mのサークルとする。
- b) 打球域から高さ1mの障壁までの距離は5m

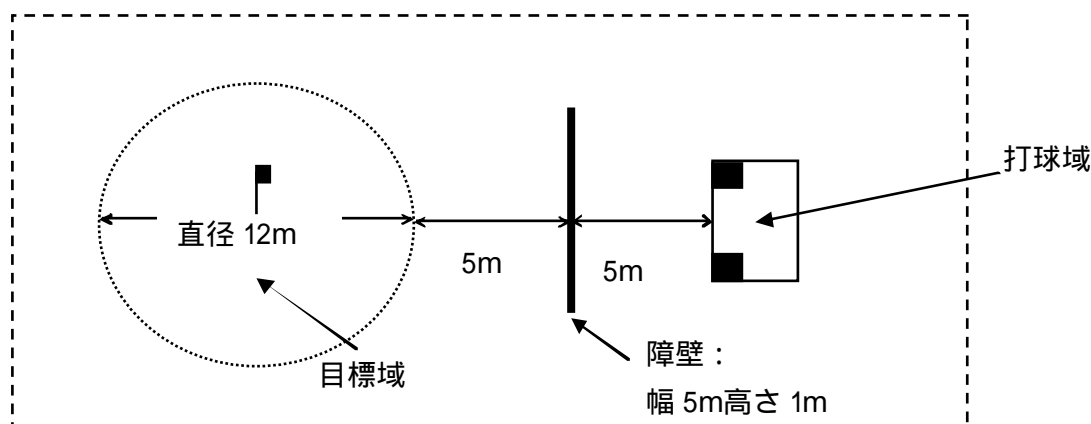
- c) その障壁から目標域までの距離は 5m
- d) ゴルファーは 5 回打つ。 競技者は障壁を越えて定められた目標域に向けてボールをピッチする。

**注：** スキルステーションを最大限安全な環境にするため、レンジ（ゴルフ練習場）のように限定された区域に置く。もし限定されない区域が使用された場合はその域をロープで仕切り、ボランティア、観客、競技者が明確に認識できるようにする。

#### 4) スコア

- a) 競技者は目標に向かって 5 回打ち、ボールの着地点によって スコアが決まる。
- b) 競技者は、1 打につき 1 点を得る。(空振りも 1 打とみなし、スコアは 0)
- c) ボールが障壁を越え、両竿の間に着いた場合 2 点。
- d) ボールが 12m 域内に落ちて転がり出るか、12m 域外に落ちて 12m 域内で止まった場合、3 点が得られる。

#### ピッチショット図解：



- e) ボールが 12m 域内に落ちてから 12m 域内で止まった場合 4 点。
- f) ピッチショットのスコアはこの 5 回の合計点となる

#### e. バンカーショット

#### f. アイアンショット

- 1) 目的 打球域のセット内でアイアンショットによる競技者の飛距離能力を測る。
- 2) 用具
  - a) 各種番手の右利き及び左利き用アイアン
  - b) 競技者数に合わせた数のボール。ボールを回収しなくてよいように 競技者

1名につき使用ボールは5個が望ましい。

- c) マーキング用の塗料或いは白墨、打球域と境界線を示すためのマーカー(さらに見やすくするため、またマーキングのかわりに1cm幅の綱やロープの使用可。)
- d) 打球用マット或いはカーペット、ティー、ヘルメット、スコア記録員(記録者)が立つ安全な場所そしてボールを回収用の布袋或いは筒状容器(必要であれば)
- e) 距離位置が認識できる目標旗と8つの三角コーン(またはパイロン)あるいはその他の見やすい目印

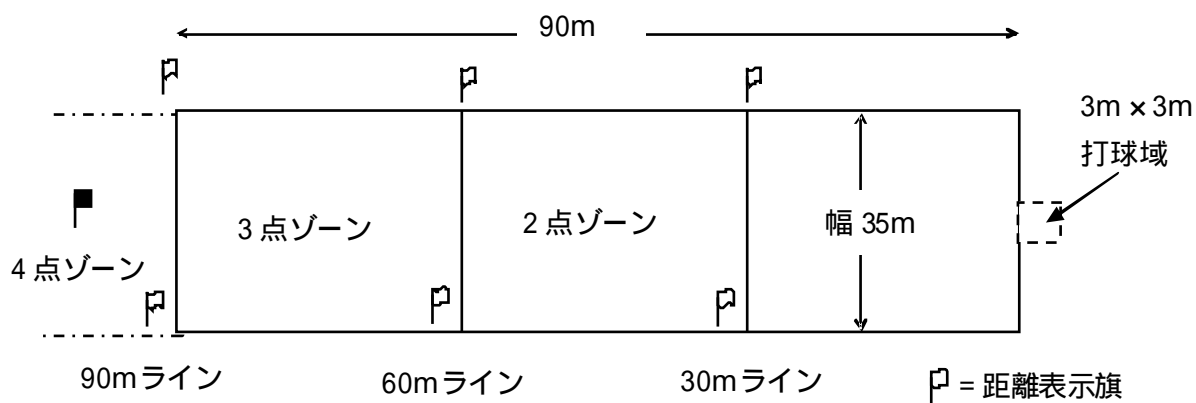
### 3) 解説

競技者はティー、マット、地面のいずれかからボールを打ってよい。競技者は打球域で指定された旗に向けて境界マーカー内で飛距離が90m以上になるよう指導される。

### 4) スコア

- a) 競技者は目標に向かって5回打ち、ボールの静止点によってスコアが決まる
- b) 競技者は、1打につき1点を得る(空振りは1打とみなし、スコアは0)
- c) ボールが30mと60mの間、35m幅境界ライン内で静止した場合は2点
- d) ボールが60mと90mの間、35m幅境界ライン内で静止した場合は3点

アイアンショット図解：



- e) 90mラインを越え、35m幅境界ライン内で静止した場合は4点
- f) 競技者のアイアンショットのスコアはこの5打の合計点である

### g. ウッドショット

- 1) 目的 設置された打球域内で、競技者のウッドショットの飛距離能力を測る

## 2) 用具

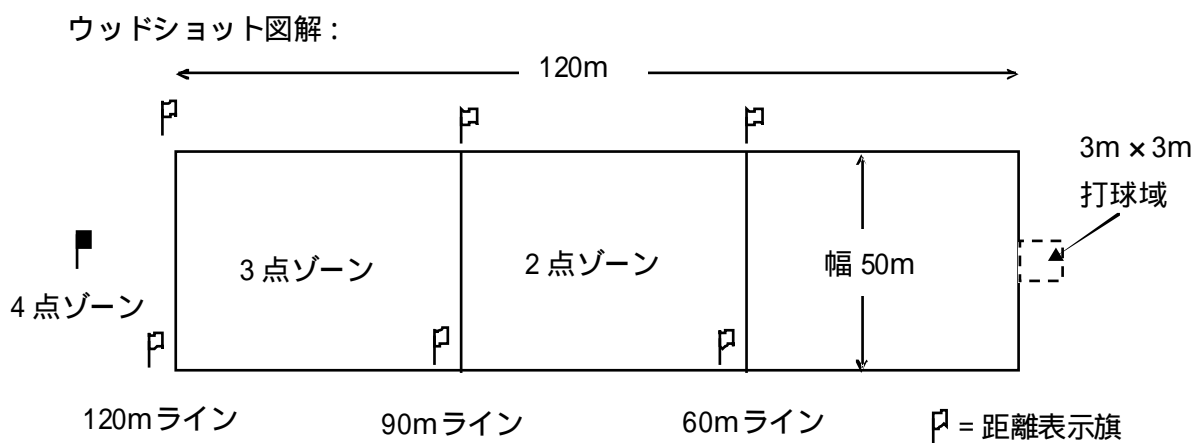
- a) 各種番手の右利き及び左利き用ウッド
- b) 競技者数に合わせた数のボール。ボールを回収しなくてよいように競技者1名につき使用可能なボールは5個が望ましい
- c) マーキング用の塗料或いは白墨、打球域と境界線を示すための目印(さらに見やすくするため、またマーキングのかわりに1cm幅の綱やロープの使用可。)
- d) 打球用マット或いはカーペット、ティー、ヘルメット、スコア記録員(記録係)が立つ安全な場所そしてボール回収用の布袋或いは筒状容器(必要であれば)
- e) 距離位置が認識できる目標旗と8つの三角コーン(またはパイロン)あるいはその他の見やすい目印

## 3) 解説

競技者はティー、マット、地面のいずれかからボールを打ってよい。競技者は打球域で指定された旗に向けて境界マーカ内(内)で飛距離が90m以上の距離に達するように指導される。

## 4) スコア

- a) 競技者は目標に向かって5回打ちボールの静止点によってスコアが決まる
- b) 競技者は、1打につき1点を得る(空振りも1打とみなし、スコアは0)
- c) ボールが60mと90mの間、50m幅境界ライン内で静止した場合は2点
- d) ボールが90mと120mの間、50m幅境界ライン内で静止した場合は3点



e) 120mラインを越え、50m幅境界ライン内で静止した場合は4点

f) この5回の総合点が 競技者のウッドショットのスコアになる

## 3. レベル2 - オルタネートショットチームプレイ

〔旧名: パートナーチームプレイ〕



- a . チームの定義 : 知的発達障害者 1 名と知的発達障害の無い者 1 名の混成チーム
- b . このレベルでのプレイの目的
  - 1 ) このレベルでは SO のゴルファーが持つ以上のゴルフ知識と能力をもつパートナーの指導のもと、スキルレベルから個人プレイレベルへと移りさらに進歩させる機会を SO ゴルファーに与えるように設計されている。その結果、このレベルではチームメイトが同等の能力を持つ伝統的なユニファイドスポーツのモデルとしては機能しない。
  - 2 ) SO ゴルファーがゴルフコースにおいて自立すべく、パートナーはコーチ又メンターの役目を務める。
  - 3 ) ゴルファーは全 9 ホールの歩行が可能でなければならない
- c . プレイの形式
  - 1 ) プレイの形式はゴルフ規則のフォーサムルール 29( オルタネート形式ショット)である プレーヤーはティーグラウンドから交互にプレイし、かつ又ボールがホールに入るまで交互に打つ  
例 : 奇数ホールのティーからプレーヤー A がプレイした場合、次はプレーヤー B が偶数ホールのティーからプレイする。 1 ホールでの使用ボールは 1 個とする。
- d . スコア
  - 1 ) 各ホールにおいて一度そのボールをインプレイにした後は、プレーヤーはそのボールがホールに入るまで、あるいは計 10 打までボールを交互に打ち続ける。  
注)空振り は 1 打とみなす
  - 2 ) 10 打目がホールに入らなかった場合、スコアは 10x とし、次のホールに進む。
  - 3 ) スコアの記録 - カードのマーキング - 競技者はスコアをつけるように指導され、競技で可能な限り常に同伴競技者のマーカーの役割を務める。トーナメント委員はマーカーの役割を務めるボランティア、キャディー、パートナーを指名できる。チームの両競技者は、チームのスコアを確認し、スコアカードにサインする責任を担う。
- e . 同点
  - 1 ) 第 1 位での同点は以下の要領で決定される :
    - a ) 1 位争いでの同点は 10x スコアの数が少ない方のチームが勝者となる
    - b ) プレーオフ ( 優勝決定戦 ) が不可能な時、マッチングスコアカード方式が好ましい。マッチングスコアカード方式については多くの選択肢があり、USGA と R&A ゴルフ規則補則 1 の C : 競技の条件 - 同点時の決定法に記載されている。同点決勝の方法はトーナメント開始前に競技条件事項に記載されていないことには留意すること。
  - 2 ) その他全ての同点は、同点のままにして、両チームには同じ賞が与えられる
- f . 規定ラウンド

- 1) 規定ラウンドは 9 ホール
  - 2) チャンピオンシップはトーナメント委員会の決定により 1、2、3 或いは 4 ラウンドで争われる
- g. トーナメント開催会場の選択
- 1) ゴルフコースの選択はトーナメント委員会の決定による
  - 2) 委員会はトーナメントを実行する上での難しさの度合いとその影響具合を考慮しなければならない。
- h. ゴルフコースの準備と設定
- 1) ゴルフコースはトーナメント委員会の裁量で設定される。委員会は以下のガイドラインに従い、スペシャルオリンピックスのプレーヤーに合わせて各ホールのティーグラウンドの位置を努めて変更する。
    - a) コース上どこからでも、ハザード(障害域)やその他障害物を越えて 47m(50 ヤード)以上の距離をゴルファーに打たせるのは避けること。
    - b) 次の測定値(寸法)を越えないホールを作る
 

パー 3	140m(150 ヤード)
パー 4	326m(350 ヤード)
パー 5	419m(475 ヤード)
  - 2) トーナメント委員会は女性プレーヤー用のティーグラウンドを決定する
- i. 登録とディビジョニング(クラス分け)
- 1) 各チームはこの形式での最新 6 回分のスコアを提出することで登録を行う
  - 2) 各スコアのコースのパー(規準打数)をその 6 回のスコアに付記する
  - 3) スコアはゴルフのプロ、クラブ事務局長或いはゴルフ協会理事のサインによって確認される
  - 4) 級別ラウンドができない場合、トーナメント委員会はこれらのスコアをトーナメントプレイ用のディビジョニングを作成するために使用することができる。
  - 5) 級別ラウンドが行われる場合、トーナメント委員会は入手できる情報に基づいて最終的なクラス分けを行う裁量権がある。
- j. 用具
- 1) 各プレーヤーは以下のものを含む自分用の用具を用意する義務がある
    - a) クラブのセット(セットは少なくともウッド 1 本、アイアン 1 本とパター 1 本を含む)
    - b) ゴルフバッグ
    - c) グリーンフォーク
- k. 動力付きカート使用提供の決定は特定のトーナメント委員会の裁量にゆだねられている。いかなる国際行事においても 競技者は歩くことを求められる。世界競技大会委員会に診断書を提示すれば世界大会開催中の 動力付きカートの使用が考慮される場合もある

#### 4. レベル3 ゴルフ - ユニファイドスポーツ チームプレイ

a. チームの定義: 1名のスペシャルオリンピックス 競技者と知的発達障害の無い同等能力の 競技者(パートナー) 1名の混成チームである

b. このレベルのプレイの目的

1) このレベルはスペシャルオリンピックス 競技者にパートナーとチームでプレイする機会を与えるために作られており、そのチームメイト達が 競技者と同様の能力を有するという伝統的なユニファイドスポーツのモデルである。

2) このレベルのプレイはレベル4 でプレイが可能なプレーヤーのための代替として作られている

3) プレーヤーは全 18 ホール自立してのプレイ、歩行が可能でなければならない

c. プレイ形式

1) トーナメント委員会の決定により、3形式の使用が可能。3ラウンドで行われるトーナメントでは、各プレイ形式がトーナメントに含まれることが望ましい

a) 第1形式

i. フォーサム(4人が2組に分かれる)-ゴルフフルールのルール 29(オルタネートショット)

ii. プレーヤー2名は交互にティーグラウンドからプレイし、ボールがホールに入るまで交互に打つ

例: プレーヤーAが奇数ホールのティーからプレイし、プレーヤーBが偶数ホールのティーからプレイする。1ホールでの使用ボールは1個。

b) 第2形式

i. フォアボール ストロークプレイ - ゴルフフルールのルール 31

.各プレーヤーは各々のボールでプレイし、2名のうち良い方のスコアがそのホールのスコアとなる

例: プレーヤーAが5点、プレーヤーBが6点の場合、そのホールのチームのスコアは5点

c) 第3形式

i. 2者集計 - 各プレーヤーは自分のボールでプレイし、そのボール2個のスコアの集計がそのホールのスコアになる

例: プレーヤーAが5点、プレーヤーBが6点の場合、そのホールのチームのスコアは11点

d. スコア

1) 第1形式

a) インプレイ状態にあるボールを各ホールでプレーヤーが交互に打ち、そのボールが

ホールに入るまであるいは10打まで続ける

- b) 10打してもホールに入らなかった場合、チームスコアは 10x となり次のホールに進む
- 2) 第2と3形式
  - a) 10打してもホールに入らなかった場合、プレーヤーのスコアは 10x となり、次のホールに進む
  - b) 10x に達したプレーヤーのみ、そのホールのプレイを止める。片方のチームメイトはホールアウトするかホールアウトできずに 10打に達するまで続ける。
  - c) スコアの記録 - カードのマーキング - 競技者はスコアをつけるように指導され、競技で可能な限り常に同伴競技者のマーカーの役割を務める。トーナメント委員はマーカーの役割を務めるボランティア、キャディー、パートナーを指名できる。チームの両競技者は、チームのスコアを確認し、スコアカードにサインする責任を担う。
- e. 同点
  - 1) 第1位での同点は以下の要領で決定される：
    - a) 1位争いでの同点は 10x スコアの数が少ない方のチームが勝者となる
    - b) プレーオフ（優勝決定戦）が不可能な時、マッチングスコアカード方式が好ましい。マッチングスコアカード方式については多くの選択肢があり、USGA と R&A ゴルフルール補則 1 の C : 競技の条件 - 同点時の決定法に記載されている。同点決勝の方法はトーナメント開始前に競技条件事項に記載されていないことには留意すること。
  - 2) その他全ての同点は、同点のままにして、両チームには同じ賞が与えられる
- f. 規定ラウンド
  - 1) 規定ラウンドは 18 ホール
  - 2) チャンピオンシップはトーナメント委員会の決定で 1、2、3 あるいは 4 ラウンドで争われる
  - 3) チーム集計トーナメントプレイでは、トーナメント委員会はその決定権を行使して規定ラウンドを 9 ホールにできる
- g. トーナメント開催場の選択
  - 1) ゴルフコースの選択はトーナメント委員会の決定による
  - 2) 委員会はトーナメントを実行する上での難しさの度合いとその影響具合を考慮しなければならない。
- h. ゴルフコースの準備と設定
  - 1) ゴルフコースはトーナメント委員会の裁量で設定される。委員会は以下のガイドラインに従い、スペシャルオリンピックスのプレーヤーに合わせて各ホールのティーグラウンドの位置を努めて変更する。
    - a) ハザード、その他の障害物を越える飛距離は 140m(150 ヤード)以上にならない

いようにする

b) 以下に推奨される最大距離を有する既存のティーを可能な限り利用する：

パー 3 165m(175 ヤード)

パー 4 372m(400 ヤード)

パー 5 490m(525 ヤード)

2) トーナメント委員会は女性プレーヤー用のティーグラウンドを定める

i. 登録とディビジョニング

1) 各プレーヤーのハンディキャップは 35 を越えてはならない

2) チームメンバーのハンディキャップの差は 10 を越えてはならない

3) チームが登録する際、ハンディキャップの差が 10 を越えているチームは、2 つのハンディキャップの低い方にあわせた 10 という標準的な差に従って分けられる

例：プレーヤー A がハンディキャップ 10 でプレーヤー B が 35 の時、ディビジョニングのために、トーナメント委員会はローハンディのプレーヤー（プレーヤー A）のハンディキャップ 10 に合わせ、ハンディキャップの最大差 10 の規定に基づき、プレーヤー B のハンディを 20 とする。

4) これらのハンディキャップはディビジョニング過程のためにのみ使われ、トーナメントのプレイ中の採点過程では適用されない

5) 各プレーヤーは認証済のハンディキャップ又は 18 ホールの最新 6 回分のスコアを提出して登録する

a) そのスコアには各スコアに対するコースのパー（規準打数）を付記する

b) 全スコアはゴルフのプロ、クラブ事務局長あるいはゴルフ協会理事のサインによって検証される

6) 級別ラウンドができない場合、トーナメント委員会はこれらのスコアをトーナメントプレイ用のディビジョニングを作成するために使用することができる。

7) 級別ラウンドが行われる場合、トーナメント委員会は入手できる情報に基づいて最終的なクラス分けを行う裁量権がある。

j. 用具

1) 各プレーヤーは以下のものを含む自身用の用具を用意する義務がある

a) クラブのセット（セットは少なくともウッド 1 本、アイアン 1 本とパター 1 本を含む）

b) ゴルフバッグ

c) グリーンフォーク

5. レベル 4 ゴルフ - 個人ストロークプレイ競技

a. このレベルでのプレイの目的

1) このレベルは、規定ラウンドが 9 ホールであるトーナメントで個人プレイを望む SO ゴルファーの要望に合わせて作られている

- 2) プレーヤーは1人でのプレイが可能で、全9ホールの歩行が可能でなければならない
- b. プレイ形式
- 1) 形式はストロークプレイの競技である
- c. スコア
- 1) 10打してもホールに入らなかった場合、プレーヤーのスコアは10xとなり、次のホールに進む
  - 2) スコアの記録 - カードのマーキング - 競技者はスコアをつけるように指導され、競技で可能な限り常に同伴競技者のマーカーの役割を務める。トーナメント委員はマーカーの役割を務めるボランティア、キャディー、パートナーを指名できる。競技者は、各自のスコアを確認し、スコアカードにサインする責任を担う。
- d. 同点
- 1) 第1位での同点は以下の要領で決定される：
    - a) 1位争いでの同点は10x スコアの数が少ない方のプレーヤーが勝者となる
    - b) プレーオフ(優勝決定戦)が不可能な時、マッチングスコアカード方式が好ましい。マッチングスコアカード方式については多くの選択肢があり、USGAとR&Aゴルフルール補則1のC: 競技の条件 - 同点時の決定法に記載されている。同点決勝の方法はトーナメント開始前に競技条件事項に記載されていないことには留意すること。
  - 2) その他全ての同点は、同点のままにして、全プレーヤーに同じ賞が与えられる
- e. 規定ラウンド
- 1) 規定ラウンドは9ホール
  - 2) トーナメント委員会の決定でチャンピオンシップは1、2、3あるいは4ラウンドで行われる
- f. トーナメント開催場の選択
- 1) ゴルフコースの選択はトーナメント委員会の決定による
  - 2) 委員会はトーナメントを実行する上での難しさの度合いとその影響具合を考慮しなければならない。
- g. ゴルフコースの準備と設定
- 1) ゴルフコースはトーナメント委員会の裁量で設定される。委員会は以下のガイドラインに従い、スペシャルオリンピックスのプレーヤーに合わせて各ホールのティグラウンドの位置を努めて変更する。
    - a) コース上どこからでも、ハザード(障害域)やその他障害物を越えて47m(50ヤード)以上の距離をゴルファーに打たせるのを避ける。
    - b) 次の測定値を越えないホールを作る  
パー3 140m(150ヤード)

パー 4 326m(350 ヤード)

パー 5 419m(475 ヤード)

2) トーナメント委員会は女性プレーヤー用のティーフラウンドを定める

h. 登録とディビジョニング

- 1) 各プレーヤーは最新 6 回のスコアを提出することで登録を行う
- 2) 各スコアのコースのパー(規準打数)をその 6 回のスコアに付記する
- 3) スコアはゴルフのプロ、クラブ事務局長或いはゴルフ協会理事のサインによって確認される
- 4) 級別ラウンドができない場合、トーナメント委員会はこれらのスコアをトーナメントプレイ用のディビジョニングを作成するために使用することができる。
- 5) 級別ラウンドがわれる場合、トーナメント委員会は入手できる情報に基づいて最終的なクラス分けを行う裁量権がある。

i. 用具

- 1) 各プレーヤーは以下のものを含む自身用の用具を用意する義務がある
  - a) クラブのセット(セットは少なくともウッド 1 本、アイアン 1 本とパター 1 本を含む)
  - b) ゴルフバッグ
  - c) ゴルフボール
  - d) グリーンフォーク

j. 動力付きカート使用提供の決定は特定のトーナメント委員会の裁量にゆだねられている。いかなる国際行事においても 競技者は歩くことを求められる。世界競技大会委員会に診断書を提示すれば世界大会開催中の動力付きカートの使用が考慮される場合もある。

6. レベル 5 ゴルフ 個人プレイ

a. このレベルでのプレイの目的

- 1) このレベルは規定ラウンドが 18 ホールのトーナメントで個人的にプレイすることを望むスペシャルオリムピックスゴルファーの要望に合わせて作られている
- 2) このレベルは、殆ど変更なしのコースにゴルファーを挑戦させる
- 3) プレーヤーは一人でプレイでき、全 18 ホールの歩行が可能でなければならない

b. プレイ形式

- 1) プレイ形式ストロークプレイ競技である

c. スコア

- 1) 10 打してもホールに入らなかった場合、プレーヤーのスコアは 10x となり、次のホールに進む
- 2) スコアの記録 - カードのマーキング - 競技者はスコアをつけるように指導され、競技で可能な限り常に同伴競技者のマーカーの役割を務める。トーナメン

ト委員はマーカールの役割を務めるボランティア、キャディー、パートナーを指名できる。競技者は、各自のスコアを確認し、スコアカードにサインする責任を担う。

d . 同点

1 ) 第 1 位での同点は以下の要領で決定される :

- a ) 1 位争いでの同点は 10x スコアの数が少ないプレーヤーが勝者となる。
- b ) プレーオフ (優勝決定戦) が不可能な時、マッチングスコアカード方式が好ましい。マッチングスコアカード方式については多くの選択肢があり、USGA と R&A ゴルフルール補則 1 の C : 競技の条件 - 同点時の決定法に記載されている。同点決勝の方法はトーナメント開始前に競技条件事項に記載されていないかならなければならないことに留意すること。

2 ) その他全ての同点は、同点のままにして、全プレーヤーに同じ賞が与えられる

e . 規定ラウンド

1 ) 規定ラウンドは 18 ホール

2 ) トーナメント委員会の決定でチャンピオンシップは 1、2、3 あるいは 4 ラウンドで行われる

f . トーナメント開催場の選択

1 ) ゴルフコースの選択はトーナメント委員会の決定による

2 ) 委員会はトーナメントを実行する上での難しさの度合いとその影響具合を考慮しなければならない

g . ゴルフコースの準備と設定

1 )) ゴルフコースはトーナメント委員会の裁量で設定される。委員会は以下のガイドラインに従い、スペシャルオリンピックスのプレーヤーに合わせて各ホールのティーグラウンドの位置を努めて変更する

a ) ハザード (障害域) やその他障害物を越えて 140m (150 ヤード) 以上の距離をゴルフファーに打たせるのは避ける

b ) 次の測定値を越えない既存のティー位置を利用する

パー 3 165m (175 ヤード)

パー 4 372m (400 ヤード)

パー 5 490m (525 ヤード)

2 ) トーナメント委員会は女性プレーヤー用のティーグラウンドを定める

h . 登録とディビジョニング

1 ) 各プレーヤーは最新 6 回のスコアを提出することで登録を行う。

2 ) 各スコアのコースのパー (規準打数) をその 6 回のスコアに付記する。



- 3) スコアはゴルフのプロ、クラブ事務局長或いはゴルフ協会理事のサインによって確認される。
- 4) 級別ラウンドができない場合、トーナメント委員会はこれらのスコアをトーナメントプレイ用のディビジョニングを作成するために使用することができる。
- 5) 級別ラウンドが行われる場合、トーナメント委員会は入手できる情報に基づいて最終的なクラス分けを行う裁量権がある。

i . 用具

- 1) 各プレーヤーは以下のものを含む自身用の用具を用意する義務がある
  - a) クラブのセット(セットは少なくともウッド1本、アイアン1本とパター1本を含む)
  - b) ゴルフバッグ
  - c) ゴルフボール
  - d) グリーンフォーク
  
- j . 動力付きカート使用提供の決定は特定のトーナメント委員会の裁量にゆだねられている。いかなる国際行事においても 競技者は歩くことを求められる。世界競技大会委員会に診断書を提示すれば世界大会開催中の 動力付きカートの使用が考慮される場合もある。

<スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを実施するに当たっての留意点>

スペシャルオリンピックスの正式なスポーツプログラムとして活動する場合には、事前に最寄りの地区組織事務局、又はスペシャルオリンピックス日本本部事務局にご連絡ください。